

## 鳥海ブナ林施業公園の 利用状況 (96)

矢島署・担当区事務所 ○三浦 健  
経 営 課 藤原吉郎

### 1 はじめに

雄大な鳥海山の北山麓部に、鳥海山矢島登山口へ向かう県道沿い一帯に広がるブナ林や、秋田県の天然記念物に指定されている「鳥海ムラスギ」を含むエリアを「鳥海ブナ林施業公園」として開設したのは平成元年10月15日のことでした。

このブナ林を実際に散策して、レクレーションの場として親しんでいただきながら、ブナの伐採、更新、そしてブナの育成状況が観察できる二次林などを散策・観察して「ブナ天然林施業」の重要性を理解していただける場として開設しました。

折から、自然保護問題、とりわけ「ブナ林の保護」に関しては、世論、マスコミ共に高い関心をもっている中での開設であり、この公園の果たす役割の大きさがうかがえるものでした。

オープンに当たっては、営林局の指導と、地元矢島町から絶大の協力を得て「ブナツアー」を実施しましたが、このツアー後の反響は予想以上の好評を得て、全職員、嬉しい驚きと共に、この公園にかける熱意を新たにしており、その一端を取りまとめたので発表いたします。

### 2 平成2年度の取組み

平成2年度は、前年度の開園と共に行われたブナツアーの反省点や、多数の方々のアドバイスをもとに、この公園を訪れる人々に「より親しみ易く よりわかり易く」を目標に、更に整備を図ることにしました。

#### (1) 作設歩道の維持管理及び歩道の新設延長

散策歩道は、想像以上に延びるぼう芽や蔓、落下した枯れ枝の散乱などが多く、公園内をゆっくり、しかも安心して散策・観察できるよう歩道の刈払い整備をし、更に公園内のいろいろな箇所を散策できるよう歩道の新設をしました。ブナ保護林では300m、ブナ側方天然下種試験地では200m、ブナ二次林では500mそれぞれ新設延長をして、園内の天然林施業をまじかに観察し、理解していただけるように整備充実を図りました。

## (2) 案内板等の作製設置

元年度設置した案内板等に加え、新たに「ブナ側方天然下種試験地」と「ブナ二次林」の歩道入口に設置しました。

作製は外部発注でしたがデザイン、文面、園内略図など職員のアイデアによるもので、完成品は暖か味のある立派なものに仕上がったものと自負しているところです。

林業用語は、とかく専門用語が多く、一般の人には分かりにくいことが多いため、天然林施業の説明文は、初めての人にも理解して貰えるよう平易な文章わかりやすい語句にするなど大変気を使ったところですが、皆さんから「良くわかる」といわれ嬉しく思っているところです。

案内板等については、「ブナ公園」のそれぞれに向かう道路の分れ道、途中にも設置し、また園内の散策順路を誘導する矢印板を設置するなど、初めて訪れた人でも迷うこともなく目的地に行き、安心して散策し観察できるよう配慮しました。

## (3) 園内に「根曲がりベンチ」を設置

公園を訪れた方々に、散策途中の休憩や昼食時にジックリ腰を落ち着けブナ林を見ていただくよう、園内の20箇所に「根曲がりベンチ」を設置しました。

この「根曲がりベンチ」は、製品生産材の中から、根曲がり低質材を内部振替し、職員の手作りによる素朴にして質素なベンチですが、ブナ林の中に据え付けてみますと周りのブナの木立ちとのマッチングは予想以上のものがあり、手作りした職員は面目躍如たるものがありました。それ以上に「ブナ公園」を訪れた方々からの好評を得て極めて嬉しい限りです。

## (4) パンフレットの新調

開園時に、急ぎよ作成したパンフレットを更に見やすく分かりやすいようにと考え専門業者に委託発注し、出来上りのパンフレットは見学の道しるべとして、またPR用として大いに活用されております。

立派なパンフレットですし、「ブナ公園」をPRするため鳥海山麓線・矢鳥駅の窓口や矢鳥町役場の窓口にも置かせて貰っております。

## (5) 来園記念の焼き印木製板の作製

ブナツアー等で来園された方々に記念用として、除伐の際に切り出した小径木を輪切りにした木製板に、職員がデザインした焼き印を押した「円盤」をプレゼントしたところ「壁掛けに良い」とか「釜台になる」とか大変好評を博し

ております。

#### (6) マスコミに対するPR

営林局署における「ブナツアー」キャンペーンは勿論のこと、地元の矢島町でも観光行政を進めている折から「鳥海山麓のブナ」「鳥海ムラスギ」の紹介を兼ねて営林局署とタイアップしたPRは、ことのほか真剣に取り組んでもらえたし、また、地方新聞にも働きかけ記事にさせていただくなどPRに努めました。参加者からは感想文や礼状が届くなどその反響の大きさに、いまさらながら驚き嬉しさを味わっているところです。

### 3 平成2年度の利用状況

「鳥海ブナ林施業公園」を多くの方々に親しんでいただくために、改善・整備に取り組んできた中で、平成2年度の公園利用者はグラフに示すように急速に伸び、反響の大きさが分かります。

利用の内訳を見ると春から夏の新緑期には、これまでの小学生の森林教室に加え今年度からは中学生・高校生の森林教室も実施され、更に林学関係の大学生の研修もこの「ブナ公園」で実施されました。

営林局主催の「森林講座」は現地研修としてこの「ブナ公園」を利用するなど新たな活用の場が開かれたものと考えます。

また秋には、鳥海山を背景に美しい紅葉絵巻が見られる中で「第2回ブナツアー」がありましたし、第3セクターが経営する「鳥海山麓線」が募集した「観光ツアー」のコースにこの「ブナ公園」が含まれ、この案内に当署の職員が当

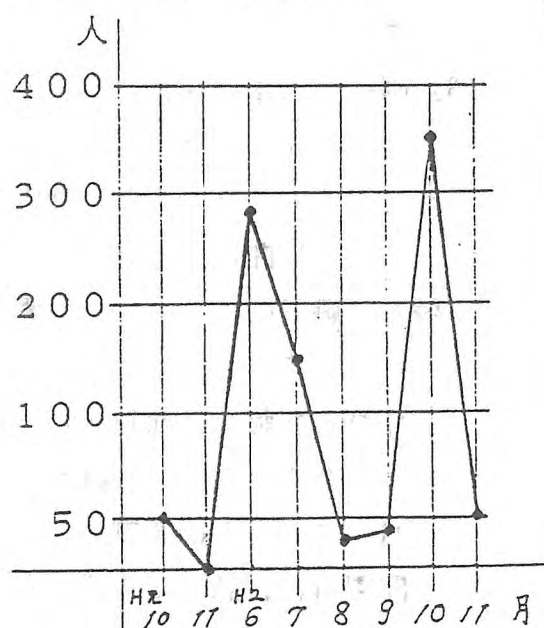
たり大変感謝されたことなどは「ブナ公園」の存在が地域に浸透して行っていることであり嬉しい限りであります。

その他、林業関係者の研修や各種団体の利用があり、営林署への問い合わせも枚挙にいとまがないほどでした。

休日のドライブ等を兼ねて訪れる方々を含めると、今年度の利用客は1千人を越えているものと推定されます。

#### 4 今後の課題

「ブナ公園」の利用者数



「ブナ公園」の利用とその反響については、関係機関の協力を得ながら多くの利用客があり、しかも「ブナ公園」を訪れた人達の反響は一様に林業の重要さの他に、ブナの育成にかける営林局署の仕事の一端がよく分かるという評価が大多数で公園開設の効果の大きいことが伺えます。

なお「ブナ公園」を今後ますます利用客を増やし国有林野事業のPRを一層進めて行くためには多くの課題が残されております。

利用者の声を聞くために、公園内にアンケートポストを設置するなど、またPRの推進や当署職員による案内人の質・量の養成も大きな課題と考えております。

利用客を見ると一般的に若い人達の利用が少ないので、若年層にも興味を持っていただけるような工夫も必要であります。

時期的には夏の利用者が少なめですが、この時期は暑さ真っ盛り之時であり「ブナ公園」林内の冷涼な環境を活かした避暑的イベントや、近くにある指定キャンプ場とタイアップした活用方法などを検討したいと思います。「鳥海ブナ林施業公園」は、国有林野事業を多くの人々に理解していただける場として、その使命は大きいと考えます。

まだまだ課題は数多くありますが、営林局をはじめ関係機関の協力をいただきながら親しみやすく価値ある公園にしたいものと、職員一同努力中であることを申し添えます。